

11月の予定		
1	日	
2	月	公園苗植え（いきいき）
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	Tボール交流試合（いきいき）
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	歯科健診
12	木	
13	金	
14	土	布団乾燥
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	わらべうた
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	発表会総練習①（すく・異年齢）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

くらき永田保育園便り 11月号

例年であれば運動会終了後、秋晴れが続き外遊びや自然遊びを楽しむ姿が見られる季節ですが、先月は、雨や台風のニュースに一喜一憂する晴天が少ない一か月でした。そんな中でもバケツ稲刈り、芋掘り、収穫祭といった体験行事を無事に行うことが出来たことは“さすがくらき永田保育園”といったところではないでしょうか。お手伝い頂いた多くの保護者の皆さんには感謝しかありません。

さて、今年も残すところ2か月となり、日が暮れるのが早くなり、急激に寒さが増してきています。新型コロナウイルスの感染拡大以外にもインフルエンザなどの感染症気が心配な季節になってきましたが、衛生環境を調えながら寒さに負けず元気に遊んでいきます。

駅 de えきでん

南区内の保育園での一大イベントといえば「みなっち杯えきでん」毎年、清水ヶ丘公園で年長児と保護者が総勢1000人以上集まる交流イベントでしたが今年は新型コロナウイルスの関係もあり、接触機会を無くした形で交流を考えました。京浜急行さんに協力をお願いし、弘明寺から黄金町までの4駅に子どもたちが描いた似顔絵ポスターが11月1日から展示され、12月には南区役所市民ギャラリーに飾られます。井土ヶ谷駅他を使われるときには是非、くらき永田保育園の子どもたちの似顔絵を探してみてください。

「ホンモノの体験」とは

北海道に視察研修に行ってきました。大自然の中で自由に遊びまわる姿は都市部の保育園ではとても真似できないなと思う一方、「ホンモノの体験」の大切さはあらためて再認識する機会にもなりました。先月、新宿の高層ビルで食事していると鈴虫の鳴き声が聞こえてきました。驚いて店員さんに尋ねると「三代目の鈴虫なんです。卵を産んでは繰り返す、三度目の秋になります」という説明を受けました。風も吹かず、雨も降らず、ギラギラした夏の太陽も霜の降る寒い冬の朝も鈴虫は知りません。捕食する必要も外敵に襲われ命を落とすこともない中で繰り返される生と死のサイクルの中で生活する鈴虫にとって「ホンモノの体験」とはなんだろうと考えたりもしました。先日、園庭の花壇の土の中からミミズが出てきました。触る前から「気持ち悪い～」という子どもがいましたが、これはミミズという概念が作り出したリアリティと言えますが、実際おそるおそる触ってみると

「冷たくて、ヌルヌルして強く持つとちぎれそう」・・・そんな生命の感覚を味わうような体験を子ども時代にたくさん経験できる保育園でありたいなと感じています。



給食室から

今月は秋の味覚の代表とも言える、旬のお野菜さつまいものお話です。10月22日の収穫祭の焼きいもはスズキさんの畑で掘った紅乙女という種類のさつまいもです。とっても甘くて美味しかったですね。さつまいもに含まれるヤラピンは、腸のぜん動運動を促す働きがあるとされており、食物繊維との相乗効果で腸内の環境を整えてくれます。新鮮で美味しいさつまいもは、表面の色が均一でツヤがあり、ヒゲヤ斑点が少なく、手に持つとずっしりとした重みがあるのが特徴です。

お店で購入する際には上記を意識し、食欲の秋をよりいっそう楽しんでみてはいかがでしょうか？



クラスの様子をお伝えします

今月のテーマは『生活』です！

にこにこ

日々、成長を見せてくれるにこにこさん。生活する中で協力動作をしてくれる姿が増えてきました。着脱の場面では、洋服の袖を持つと肘を曲げて腕を抜いたり、首元を持ち上にあげたりする姿を見せてくれます。オムツ替えでは交換後に保育士が親指を見せると、手で握り、腹筋を使って自分で起き上がることが習慣になってきました。

繰り返し行ってきたことで、見通しを持ち“自分から”活動する子どもたちの姿があります。今後の更なる成長が楽しみでワクワクしています！



すくすく

出来ることが増えてきたすくすく組さん。小さな出来る事が自信に繋がり、「お兄さんだから」「お姉さんだから」と嬉しそうに話しています。着脱では、「先生、見て～靴下履けたよ～」や「シャツを半分こ(たたむ)出来たよ」と嬉しそうに伝えてくれたり、「どっちが前？」と聞き服の前後を気にするようになりました。たまに、「あら、服が前と後ろ反対よ」と伝えると「いいの！これがいいの！」と強気なところもあつたりします。その他、靴の左右を「こう？こう？」保育士に確認しています。最近では、食後に自分でコップをコップ袋に入れ、リュックにしまいに行ったり、エプロンをロッカーの汚れ物入れへとしまふようになりました。子どもたちの意欲、成長には驚かされます。

よちよち

よちよち組では乳児の森での遊びがとても盛り上がっています。4月の頃は土の上を歩くこともまだ苦手な子が多かったよちよちさん。今では乳児の森を通して様々な体験をしています。最近は料理ごっこがどんどん本格的になっており、土を盛りつけて「カレーどうぞ！」としっかりと料理名を保育士に伝えてくれたり、葉っぱや花びらを使ってきれいに飾り付けをして持ってくる子もいます！乳児の森での遊びの様子はブログでも詳しく紹介していけたらと思います！

異年齢

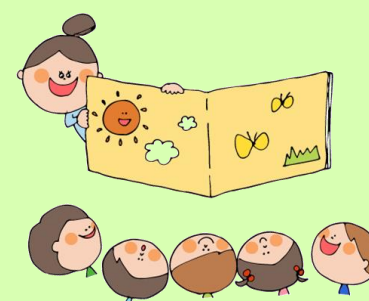
今年度が始まってから半年が経ちました。のびのび組も異年齢クラスに慣れ、わくわく組、いきいき組と一緒に楽しく生活をしています。乳児とは違い、3学年が一緒に生活をしているので下の子は上の子を頼り、上の子は下の子のお手伝いやお世話をしてくれる姿があります。

その中の一場面が午睡明けです。起きる時間になるといきいき組やわくわく組は自ら布団を畳み倉庫に片付けに行きます。自分のものを片付け終わるといきいき組はのびのび組の元へとやってきて、まだ寝ている子を優しく起こしてくれたり、一緒に布団を畳み片付けを手伝ってくれるのです！その間にわくわく組は椅子やテーブルを元の位置に設置してくれるなど、子ども同士で協力しながら過ごしています。

カメのあーちゃんのごはんを提供して下さりありがとうございます。肌寒い日が増え、あーちゃんが食べる量が減ってきたので、ごはんの募集を終了します。ご協力いただきありがとうございました！



遊言育係



9月の末にクーベルチップ(絵本屋)さんが来てくれました。各クラス担任オススメ絵本も用意していただき当日はたくさん絵本が並びました。異年齢クラスでは読み聞かせもしていただきました。コロナ対策をしながらの開催、皆様にご協力いただき無事に実施出来ました。ありがとうございました。

次回は12月に予定していますので、お楽しみに！！

☆玩具手作りボランティア募集☆

子どもたちの為に、玩具作りを手伝って下さるボランティアさんを募集しています。第一回目は乳児向けの玩具です。

「ビリビリぺったん」

ビン蓋をキルティング生地で包み、マジックテープを付けたもの。



「フィルムケーススナップ」

フィルムケースをキルティング生地で包み、スナップを付けたもの。



お裁縫仕事の好きな方！おじいちゃんおばあちゃんも大歓迎！！ご協力いただける方はクラス担任にお声掛け下さい。

※手作り玩具に使うカメラのフィルムケース(色問わず)の寄付を募集しています。合わせてご協力よろしくお願ひします！

